

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)	良くなる	商店街（代表者）	・来年の大河ドラマのキャストの発表とロケが始まり、地元 の期待も高まっている。
		コンビニ（経営者）	・11月中旬にはポジョレ ヌーヴォーの解禁があり、12月に入ると、お歳暮ギフト、クリスマスケーキ、おせち等、年末に向けて売上の取れる商材が数多くあり、また、イベント性の高いものもあるため。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・写真業界は過去にない落ち込みが続いてきたが、マイナンバー申請用の写真撮影依頼が増えるのではないかと業界を上げて期待している。
		一般小売店〔家電〕 （経営者）	・秋から年末に向け、来年度向けの新製品の発売が始まるため、期待している。
		百貨店（店長）	・公共施設が近隣に建設されている。
		スーパー（商品部担当）	・既存店での変化は感じられないものの、1店舗で全面改装を予定しており、相乗効果が期待できそうである。
		コンビニ（経営者）	・大雨が降り、当店の近くにある工業団地の道路が多量の雨水で通行止めになり、客も来なかった。今後は大雨も無いと思うので、良くなる。
		コンビニ（経営者）	・クリスマス商戦に入るため、少しは良くなる。
		コンビニ（経営者）	・これから年末商戦に入っていくなかで、来客数の回復は、非常に不透明なもの、売上高については、ある程度は伸びるのではないかと期待をしている。
		コンビニ（店長）	・9月上旬は良い方向に動いていたが、東日本の水害とシルバーウィーク等が、インサイド立地の当店にとってかなりマイナスに作用している。プレミアム付商品券が使用され始めているが、まだ、来客数は増えていない。
		家電量販店（店長）	・主要商品に加えて季節商材の暖房器具が伸びれば、今年度後半は良くなっていく。
		乗用車販売店（販売担当）	・今月ほど悪い月はないので、今月より悪くなるとは考えられない。2～3か月先には、おそらく観光地の道路やホテル関係もある程度復興するため、自動車販売等につながるかとみている。とにかく、今月は何十年も商売をしてきたが、水害で商売にならない。これ以上悪い月はもうないだろう。
		一般レストラン（経営者）	・週末、連休、また、プレミアム付商品券発行の効果により、客の動きは良くなっている。
		スナック（経営者）	・来月の宴会予約が比較的良好のため、景気も良くなってくるのではと期待している。
		観光型ホテル（経営者）	・紅葉の時期から年末にかけては、来客数の増加が期待できる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・これから2～3か月後は、ちょうど忘年会、新年会の時期にあたるため、今よりは良くなる。良くならなかつたら困る。景気はそれほど良くはないが、やはり一番の稼ぎ時のため、景気に関係なく最繁忙期となる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・来客数、売上共に年末に向けて堅調に伸びており、ほぼ前年並みである。
		都市型ホテル（営業担当）	・例年、9月と比較して、3か月後の年末に近い11～12月は、稼働、集客が期待できる。今年に関しても、変わらず高稼働を期待できると考えている。
		旅行代理店（営業担当）	・秋の紅葉シーズンを迎え、個人及び団体旅行の需要は増加傾向である。
		観光名所（職員）	・本格的な紅葉シーズンを迎え、国内観光客に加えて、海外からの旅行者も増える時期であり、客足の伸びとともに売上の増加が期待できる。
		ゴルフ場（支配人）	・とにかく今年度の天候不順は手の打ちようがない。秋晴れによる来客者の増加に期待したい。
		その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・問い合わせや、売上が引き続きある。10月には、町の文化センターで話をしたい、との依頼もある。
変わらない		商店街（代表者）	・今のままでは先細りするばかりで、非常に心細い。
		一般小売店〔乳業〕 （経営者）	・良くなるはずなのに、消費は低迷したままとみている。
		百貨店（営業担当）	・株価の状況など、現在のマイナス基調は変わらない。良くなる要素がない。
		百貨店（営業担当）	・衣料品売上の比重が高い店舗のため、好不調は衣料品の売上次第のところがある。衣料品全体の不振が継続状態にあるため、2～3か月先も現状と変わらない。
		百貨店（販売促進担当）	・今月は、婦人、紳士アパレルが不調であるが、タンス在庫にはない新しいアイテムの提案もあり、冬商戦に向けて期待したい。ただし、今までの不調トレンドが2～3か月で上向きに転じるとは考えにくい。

百貨店（副店長）	・最近の天候不順には頭が痛い。少々の雨でもテレビでは外出禁止令のような放送が延々と流れて、客の足が止まってしまふ。景気の上向き要素が見つからないなかで更に消費マインドを押し下げることにならないよう、秋晴れの日が続くことを願っている。
スーパー（店長）	・年配客が大変多く、アベノミクスには期待が持てず、消費税が10%になった時の先行きの不安が大きくなってしまっている。
スーパー（総務担当）	・来客数は前年比で下がってはいないが、やはり株価下落など経済的な不安があるなかで、今後良くなる要因は見当たらない。
スーパー（統括）	・天候不順で各種野菜の作付けが遅れ、今後、野菜の高値が予想される。牛肉、豚肉も高値安定で推移しており、消費意欲が減退する恐れがある。
コンビニ（店長）	・近隣に出店、閉店の情報が今のところあまりないので、特別大きく変わらない。今後はあまり変化がないのではないかと。
衣料品専門店（統括）	・町の中はここ数年来、客の往来が大変少なくなっている。なかなか増えないのが現状である。いろいろなイベント等を行っているが、努力の実る日はいつになるのか分からない。これから当地で秋祭りが行われるため、当店は専門店として、来客数を増やそうと努力している。
乗用車販売店（経営者）	・需要喚起に向けて、メーカーが特別仕様車を投入する予定である。
乗用車販売店（経営者）	・消費税増税の駆け込み需要の話題は、意外と少ない。
乗用車販売店（営業担当）	・自動車の開発は進んでいるが、少子高齢化の波にどう立ち向かっていくか、毎月悩んでいる。
自動車備品販売店（経営者）	・悪くならないように自社で頑張らなければならないが、身の回りの企業で良くなっている工場等は一部であり、大部分は元気な話がないので、現状と変わらない。
住関連専門店（店長）	・天候に恵まれれば売上を伸ばす可能性もあるが、不透明な状況は続くともみている。今後さらに買物に慎重になり特売品しか買わなくなるのではないかと心配である。
住関連専門店（仕入担当）	・各企業とも、来客数確保のために価格訴求を強める傾向がある。増税による負担増を節約で相殺する消費行動は、もう少し継続するとみている。
一般レストラン（経営者）	・地方ではどの外食業界も一様に、あまり良い状態とは言えない。閉店する店も増えており、なかなか景気が回復しているという実感はない。
スナック（経営者）	・変わらないと回答したが、これ以上悪くならないようにということである。少し良くなるかと思うと、中国株やドイツの自動車メーカーの排ガス不正問題等、自然と末端の方に影響が来るようで心配している。現政権もどのように考えているのか、常日ごろ気にはなっている。これ以上悪くならないことが一番の願いである。
都市型ホテル（副支配人）	・今後の受注状況を見ると、団体予約は10～11月にかけて前年を上回りそうである。しかし個人客の単価下落は続いており、トータルの売上額で見るとほぼ前年並みに落ち着きそうである。
旅行代理店（所長）	・一番の行楽シーズンを迎えるが、今回の大雨によるマイナスイメージが、当地の景気を押し下げるとみている。
旅行代理店（従業員）	・全く景気の良い話が聞こえてこない。
旅行代理店（副支店長）	・北陸新幹線延伸開業による新幹線利用旅行の需要は多いが、秋の行楽シーズンの受注はあまり伸びていない。海外旅行は、アジア方面も安定してきており、年末年始や連休等の受注を期待している。
タクシー運転手	・客の様子をみても、地方でのタクシー利用は増えそうにない。
タクシー運転手	・前年比100～102%の前後で動いているため、将来も同程度とみている。
タクシー（経営者）	・全体的に動きは良くないので、この先も変わらない。
タクシー（役員）	・客の様子から、変わらない。
通信会社（経営者）	・インターネット映像配信サービスなど様々なサービスの出現により、今後も厳しい状況が続くそうである。
通信会社（経営者）	・中国の景気減速懸念や、ドイツの自動車メーカー排ガス不正問題など不安材料はあるものの、急激な景気変動はないとみている。
通信会社（営業担当）	・夏季期間やシルバーウィークの遊興費支出の影響を受け、年末までは消費の抑制が生じるとみている。

	通信会社（局長）	・円安や、輸出量が伸びないこと、また、銀行金利もほぼゼロ金利状態であることから、当面景気は変わらない。
	通信会社（局長）	・2～3か月内での特別な変化は考えられない。
	遊園地（職員）	・国内観光客の動きは鈍くなっているが、インバウンド観光客数は順調に増えている。
	ゴルフ場（総務部長）	・景気よりも天候によって左右される影響の方が大きく、3か月先の1月中旬以降は、ゴルフ場がクローズとなるため、変わらない。
	美容室（経営者）	・例年は、秋のイベントに向けて予約が入るが、今年はそうではなく、良くない。
	その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・先日の北関東豪雨の影響かもしれないが、買い控えもあり、災害への備え等も含めて買物自体が、身の回り品に集中するようである。そのため、変わらないという判断である。
	その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・海外経済の減速に伴い、景気の足踏み状態が続くのではないかとみている。
	設計事務所（経営者）	・新たな計画は多少あるが、全く足りない状況である。
	設計事務所（所長）	・来月から下期に入るが、上期の予算が未達成のため、かなり厳しい。
	住宅販売会社（経営者）	・起爆剤がないと客は動かなくなっており、政策上で何か動きがないと、今の状態は変わらない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・今年に入り、特にお盆を過ぎてからだが、商品カタログが新しくなる時期になると、すべての商品が値上がりしている。当店は学校販売、特にクラブ活動用品などの販売をしているが、前年消費税が8%に上がったものの、値上げをする訳にはいかず、前年と同じ金額で納めるように努力しているが、実際は卸価格も上がっているため、とても商売がやりにくく、利益も少なくなっている。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新製品は価格上昇傾向で、ますます客の購入意欲を引き出せない。性能がそれほど変わらないため、現行品、旧型品は売れるが利益は取れず、厳しい状況が続いている。
	百貨店（店長）	・景気が良くなる要素が全くない。客の購買行動も慎重である。
	スーパー（副店長）	・北国では冬支度が始まり、灯油代、電気代、スタッドレスタイヤの買換えなど、出費がかさむ時期を前に節約傾向となる。ただし、例年よりガソリン代が安い事は好条件である。
	衣料品専門店（販売担当）	・悪い方向へ向かう空気が、漂っている感じがしてならない。自助努力を怠っているとは思えないが、来客数も減り続けている。社会環境が冷え込んでおり、今後もこれがずるずると続いてしまうのかと考える。
	乗用車販売店（経営者）	・地域全体が良い所とそうでもない所の二極化になっており、中間層が少なくなっている。本当に先行きが心配である。
	乗用車販売店（販売担当）	・毎月展示会を開催しているなかで、販売量が減ることはもちろんあるが、魅力的な車が少ないのか、来客数も少ない。また、今回のドイツの自動車メーカーの排ガス不正問題によって、本当に自動車販売は悪くなる。サービスも毎月目標が達成できていない。どんどん悪くなっているようである。
	乗用車販売店（管理担当）	・景気対策が見当たらず、しばらくは現状のまま、景気の足踏み状態が続くとみている。
	住関連専門店（経営者）	・マスコミの報じる経済情勢も国内外で明るい要素がなく、消費者マインドは湿りがちである。さらに、自然災害等の報道により、消費に対して積極的になる要素が見当たらない。
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	・今後も販売量、使用量共に減少していくのではないかと。
	一般レストラン（経営者）	・良くなる理由が見当たらない状況が続く、消費への意識は、よりシビアになっているようである。
	一般レストラン（経営者）	・忘年会の予約数が前年同時期に比べ減少している。葬祭については家族葬が増加し、仕出しの数量が減少している。レストランの客単価は上昇しているものの客数が減少しており、売上の減少傾向が見られる。
	観光型旅館（経営者）	・前年の11月が例年になく好調だった。今年は前年を上回るとは考えにくく、2～3か月先は悪くなると予想する。
	通信会社（社員）	・利益の大半を占める事業者からの手数料収入が減少するため、やや悪くなる。
	競輪場（職員）	・2番目に大きいレースであるオールスター競輪の売上が、連休にもかかわらず予想に反して目標額に達しなかったからである。
	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・少子高齢化と若者の車離れ、自動車は使う時だけ、共用でもかまわない、といった消費者の意識の変化が必要減の要因になっており、今後もそうした方向で進むとみている。

		設計事務所（所長）	・民間案件では、無報酬の設計競技により、設計者の選定を行うなど、仕事の窓口が非常に狭くなっている。
		住宅販売会社（従業員）	・豪雨や台風など天候不順の後遺症があり、観光は敬遠気味のため、やや悪くなる。
悪くなる		一般小売店〔衣料〕（経営者）	・当地は山が多い地域のため、山間部で台風等による災害が発生していた。当店は町中のため、何も災害はなかったが、良くなる要素も見当たらず、困っている。
		通信会社（経営者）	・この先、電力自由化、都市ガス自由化と続き、エネルギー業界は競争が激化し大いに混乱するだろう。そして地方の中小事業者が淘汰されていくとみている。地方創生は体裁ばかりで実際は、地方の中小零細は切り捨てられる。今後、国の規制緩和策が継続できなくなった時、日本は大暴落するのではないかと心配である。
		通信会社（経営者）	・20%も特典の付くプレミアム付商品券でさえ、全体の50%しか売れていない。当社の客である商店や中小企業が広告宣伝費を使う日はいつ来るのか。
		テーマパーク（職員）	・天候不順に加え、茨城県内の鬼怒川の氾濫により、風評被害が発生している。
企業動向関連 (北関東)	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者） その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・主要取引先である国内自動車メーカーの輸出が増加している。 ・12月に当社太陽光発電所の4か所目である発電量0.5メガと、5か所目である発電量1.3メガの電力会社への接続が始まる予定である。
	やや良くなる	食料品製造業（営業統括） 一般機械器具製造業（経営者） 建設業（開発担当） 建設業（総務担当） 広告代理店（営業担当）	・各メーカー共に、新酒の製造に力を入れており、業界主催の新酒祭りも、都内公園で11月上旬に企画されている。販売数字の伸びが引き続き期待できる。 ・自動車関連の仕事で、モデルチェンジに伴う増産が、予定されており、若干だが仕事量は上向き見込みである。ただ、それ以外の仕事では明るい兆しが無い。 ・現政権のもと、公共工事を中心に今年度は前年比2.1%増、前年度は同7.6%増と2年連続で発注額増が大変有り難い。今後も経済政策重視とのことで期待している。ただ建設業の経営は10年以上続いた不況業種のため、作業員不足と高齢化が続いている。地方の建設業が魅力ある業種になることが今後大事である。 ・災害復旧工事の発注が増えてくるのではないかと期待している。 ・年末年始に向けた販促計画は前年同様に推移している。販促チラシの発注が増えるかとみている。
変わらない		食料品製造業（製造担当）	・円安や原料高はいまだに続いており、基本的には厳しい。
		化学工業（経営者）	・天候の回復とともに主力製品の受注回復を期待する。好調な部門の受注はもう少し続くとみている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・店頭販売商品の動きが多少あり、動向に期待している。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・見積件数は増えてきているものの、景気が良くなるまでには至らない。
		金属製品製造業（経営者）	・仕事は変わらずあるが、この先がどうなるか分からない。今後も現状程度に仕事がやっていければ良い。前月も報告しているが、魚を干すステンレス枠の試作の仕事が入っており、本格的に受注できることを期待している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・中国問題に加えてドイツの自動車メーカー排ガス不正問題と、自動車部品の国内生産数はますます分からないような気がするが、発注量の減少という情報はないので、作業量の変化はないと考える。ただし、採算性の悪い状況も変わらない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・現状、設備関係の仕事が多いが、全般的にもっと景気が良くなると、設備の入替え、更新もないため、当社の仕事量は上がらない。コンシューマー向けの仕事が少ないため、当社の景気回復は遅れている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・大きく変化はないとみているが、いまだ長期的な仕事は少ない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・今年度中は、現在の忙しい状況が続く。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先は数十社あるが、7～9月は各取引先からの注文、飛び込みの受注等が非常に多く、仕事がこなし切れない状況だが、この先2～3か月は、まるで分からない。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・催事の売上は少しずつ改善しているが、定価品販売が引き続き低迷しており、回復にはまだ少し時間がかかる。	
	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・このまま推移すると考える。	

		輸送業（営業担当）	・ 今後は気温の低下とともに、冬物商材である家電やインテリア商品、また、衣料等の物量は増えていく予測だが、全体としては例年並みの物量を見込んでいる。
		通信業（経営者）	・ 良くなる要素も悪くなる要素も見当たらない。
		金融業（経営企画担当）	・ 中国経済の減速により、日本経済への影響が懸念される。
		金融業（役員）	・ アベノミクスは地方には波及していない。しかも業種に偏りがあり、全般的な業種に波及していないため、底上げにはまだ遠い。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・ チラシ出稿量は、6月以降緩やかに回復しているが、量販店店長は、「ここ数日間のドイツの自動車メーカーによる世界的な自動車排ガス不正問題や株安などのマイナス要因が、心理的に作用し客の財布のひもが締まらなければいいが」と話していた。
		社会保険労務士	・ 計画の見直しを行うか検討する製造業の事業所が出てきそうである。
	やや悪くなる	金融業（調査担当）	・ 中国の景気減速影響が続き、不透明感が強まるとみている。
		不動産業（経営者）	・ 周囲には、資金を投資にまで向けられず、維持するのに精一杯な事業所が多い。
		不動産業（管理担当）	・ 取引先の都合で定期管理業務が延期になったり、10月からパートを雇う予定だが、その人件費以上の業務が受注できるかどうか今のところ不明なため、人件費増加分だけ利益が減少する見込みである。
		司法書士	・ 事前相談というような開発話の芽がないため、これ以上悪くなって欲しくはないが、悪くなるのではないかと。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・ 客が繁忙期に入るため、情報化への投資は減少する。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ 相変わらず資金繰りが苦しい。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ 取引先の下期の主力製品生産計画が非常に厳しく、当社の生産体制は半減してしまうほどである。
雇用関連	良くなる	-	-
(北関東)	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・ 小売関係や食品関係の製造販売、小売、これらは季節変動で、かなり高値になってきている。食べ物については、台風の影響で、少し買い控えもあるかもしれない。ただ、建築関係も災害復旧等に関連するものや、住宅関連の増改築などの求人が出るような動きを示しており、活発さを見せてくるのではないかと。製造関係は自動車関連が、新車などの製造部品、ボディなどの製造は少し上向きになるのではないかと。
		人材派遣会社（管理担当）	・ 携帯電話、新型スマートフォンの買換えにより、下取り検品業務が増えると予測している。
		人材派遣会社（支社長）	・ 人材不足感は変わらないが、Uターン、Iターンのスタッフも目につくようになってきている。タイミングが合えばマッチング率は上がる。年末～年度末の繁忙期に向けて、良い材料と感じる。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・ 今から3か月先の事を考えるが、あまり状況は良くない。
		人材派遣会社（社員）	・ 当地は紅葉もあるため、取引先のホテル、宿泊施設関係は、これから2か月から年明けくらいまで、稼働率はある程度上がっていく。ただ、当社の個人向けの仕事、個人宅関係の仕事は足踏み状態であり、今後の個人向けの仕事が増えていく見通しは立たない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・ 求人誌に常に募集をかけている企業は、あまり応募がなく人手不足が続いている。
		職業安定所（職員）	・ ここしばらくは求人数が増加し、求職者数が減少する傾向が続いていたが、求職者が転職に際して慎重になり、求職登録者の滞留傾向が強くなり、約2年ぶりに求職者数が増加している。当地への観光客が減少しており、名刹のご開帳後の収益減の影響が、サービス業では始まっている。また、小売業では、期待されたプレミアム付商品券利用による需要の高まりが見えない等、業種により先行きが不透明な部分もある。
		民間職業紹介機関（経営者）	・ 求人をけん引する製造業では、一部の若手ハイレベル求職者を除き、採用に慎重な姿勢を崩さず、契約、派遣社員に頼る傾向が強い。先行き不透明感が増しており、現状の受注はあるものの、設備投資にも踏み切れない様子が顕著である。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・ 高校生の就職活動が解禁され、企業の採用意欲が、続くかどうか今後の景気を左右するのではないかと。また、非生産部門の採用枠拡大も景気を占う大きな指標となるのではないかと。

やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・年末に向けて各家庭の支出は増加傾向となるため、財布のひもは一層固くなり、消費には結びつかない。
	職業安定所（職員）	・事業縮小予定の事業所が複数ある。多数の離職者が一時的に増加するため、やや悪くなる。
	職業安定所（職員）	・管内の大手製造メーカーで、小規模だが希望退職者の募集を開始したことから、新規求職者が増加し求人倍率の低下が懸念される。
悪くなる	-	-